

茨建協

ニュース

IBAKENKYOU NEWS

2026.9 NO.686



いばらき建設 フォトコンテスト2025

Web作品 A部門 入選
『未来を灯して』 武居千絵

CONTENTS

- 熱中症対策に関する提言まとめる
- 経営企画委員会が群マネ情報共有
- 建築委と土木委 県と意見交換
- 茨城県企業局の優秀技術者表彰

発行：一般社団法人 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

☎ 029-221-5126(代)

編集：日本工業経済新聞社・水戸支局

<http://www.ibaken.or.jp/>

熱中症対策に関する提言を行いました

選択肢に変形労働時間制

柔軟な工期設定を

本会（石津健光会長）は、近年の猛暑の深刻化を踏まえ、「建設業における熱中症対策に関する提言」をまとめました。熱中症対策として「1年単位の変形労働時間制」を有力な選択肢の一つと位置付け、併せて猛暑を考慮した適正な工期設定や夏季歩掛の見直し、熱中症対策費の適切な計上などを組み合わせ一体的な施策として推進していくことを提言しています。

建設業全体で働き方改革の転換を進めるには個々の企業努力だけでは限界があるとし、国が主体となって労働政策、公共工事の積算基準、工期設定基準、契約制度の見直しを一体的に進めるとともに、公共工事で国が率先してモデル事業を実施し、その成果を地方公共団体や民間発注者へ展

開することを期待しています。

さらに、労働者の健康と安全を確保し、将来にわたり持続可能な建設産業を実現するため、関係者が連携して制度整備と運用改善を進めることを求めています。

■本提言の特徴

- 気候変動、熱中症災害、国内外の働き方事例に加え、生成 AI を活用した WBGT（暑さ指数）の推定・世界比較等を調査。
- 会員企業 534 社を対象にアンケートを行い、343 社から回答（回答率 64.2%）。現場の実態と発注者への要望を把握。
- フレックス制、夏季休工制度、1 年単位の変形労働時間制を「クールシフト」として検討し、工期・積算・契約制度まで含めた一体的な対策を提言。

■会員アンケートで多かった「必要な対策」

78.1% 猛暑日を考慮した柔軟な工期設定

69.1% 熱中症対策費の適切な計上（拡充）

62.7% 作業効率低下に応じた夏季歩掛の見直し

※会員企業 343 社回答（令和 8 年 1 月 19 日～2 月 20 日実施）

■「クールシフト」の検討

①フレックス制

涼しい時間帯へ作業時間をシフト

②夏季休工制度

7～8 月の現場作業を原則休止

③ 1 年単位の変形労働時間制

夏を短く、冬へ労働時間を再配分

実効性・持続可能性を総合的に勘案し、③を現時点における有力な選択肢の一つとして整理しています。

■提言の方向性

- 暑熱環境を考慮した適正な工期設定と、歩掛・現場管理費・一般管理費等の積算基準の見直し。
- 熱中症対策に伴う追加負担を適切に設計変更・契約変更へ反映し、労働時間短縮でも所得が減少しない仕組みを整備。
- 国が主体となって労働政策・積算・工期・契約制度を一体的に見直し、公共工事でモデル事業を実施し、その成果を地方公共団体や民間発注者へ展開。

群マネをテーマに情報交換 経営企画委員会 県土木部と意見交換

経営企画委員会（菊地和幸委員長）は8月7日、令和8年度の第2回委員会を水戸市の協会本部で開催し「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」について県土木部との意見交換を開催しました。

菊地委員長は「熊本の震災を見ても分かるがインフラの大切さが叫ばれている。維持管理をしっかりやっていかないと今後県民生活に大きな影響が出る。本日の議題はマネジメント。話し合っていく上でいろいろな問題があると思うが官民力を合わせて取り組みを進めていきたい」とあいさつ。

議題に入り、的確なインフラメンテナンスを確保するためには、複数自治体のインフラや複数分野のインフラを群として捉え、効率的効果的にマ



ネジメントをしていくことが必要との話で一致。

今後、自治体と事業者、技術者の「3つの束」がタッグを組んでメンテナンス業務のマネジメント戦略を立てて、スケールメリットや創意工夫を発揮することで、メンテナンス業務の効率化を目指します。

スライド条項や歩掛など

土木委員会 県土木部と意見交換



土木委員会（鶴田哲男委員長）は8月3日、茨城県土木部の検査指導課・監理課との意見交換会を水戸市の協会本部で開催しました。スライド条項や歩掛、総合評価方式、工期末の平準化などをテーマに、実態に即した円滑な施工確保へ意見を交わしました。

鶴田委員長は「行政と業界が率直に意見を交わし、相互理解を深める大変貴重な機会。ぜひ忌憚のないご意見を頂戴し、今後の業務改善や、より良い公共工事の実現につながれば」とあいさつしました。

円滑な施工確保を

建築委員会 県土木部と意見交換



建築委員会（松浦一久委員長）は8月24日、茨城県土木部の建築指導課・営繕課・住宅課・検査指導課との意見交換会を水戸市の協会本部で開催しました。資材高騰への対応や工事費内訳書への材料費・労務費明示などをテーマに、実態に即した円滑な施工確保へ意見が交わされました。

冒頭のあいさつで松浦委員長は「関係機関と連携を図り、課題の解決に積極的に取り組み、地域の基幹産業として地域の守り手という社会的使命を継続して果たしてまいりたい。実りある意見交換会にしたい」と述べました。

技術者7名を表彰

茨城県企業局主任(監理)技術者表彰

茨城県企業局は8月26日、2026年度主任(監理)技術者表彰式を県庁共用会議室で執り行い、優秀な成果で工事を完了させた技術者7名を表彰しました。まことにめでたうございました。

企業局長表彰として主任(監理)技術者表彰1名、生産性向上につながるDX技術を活用した人財の「DX技術者賞」2名を表彰。さらに企業局長表彰に準じて、優秀な成績で工事を完成した主任(または監理)技術者4名が水道事務所長表彰

を受賞しました。

表彰は、企業局が発注した建設工事について、誠意をもって適正に施工し、特に優秀な成績で完成した工事を担当した主任(監理)技術者の功績をたたえるものです。

今回は、令和7年度完成工事198件のうち、500万円以上の144件の中から80点以上の工事18件で、優秀な成果を収めた7名を選定しました。

2026年度 茨城県企業局主任(監理)技術者表彰受賞者一覧 ※敬称略・順不同

【企業局長表彰】

氏 名	所属会社	事業名及び工事名
阪口 真紀	三光建設(株)	鹿行広域水道用水供給事業 送水管布設(耐震化)工事(1工区)

【企業局長表彰(DX技術者賞)】

氏 名	所属会社	事業名及び工事名
坪来 新一	(株)大貫工務店	県中央広域水道用水供給事業 送水管布設(改築)工事(その1)
菅野 和史	常総・根本JV	鹿島工業用水道事業 配水管布設(耐震化)工事(1工区)

【県南水道事務所長表彰】

氏 名	所属会社	事業名及び工事名
高木 健二	樋口土木(株)	県南西広域水道用水供給事業 導水管布設工事(2工区)

【鹿行水道事務所長表彰】

氏 名	所属会社	事業名及び工事名
宮内 悟	東城建設(株)	鹿島工業用水道事業 配水管布設(耐震化)工事

【県西水道事務所長表彰】

氏 名	所属会社	事業名及び工事名
広瀬 登	石塚産業(株)	県南西広域水道用水供給事業 送水管布設工事(その1)

【県中央水道事務所長表彰】

氏 名	所属会社	事業名及び工事名
関 次夫	(株)鶴田組	那珂川工業用水道事業 配水管布設(改築)工事(その2)

令和8年度

茨城県技術者表彰受賞者

(8月表彰分)
※受賞者(企業名)
敬称略

【太子工務所】

- ◆下重元弘(株)椎名工務店
- ◆齋藤嘉直((有)益子工務店)
- ◆菊池丈士(海老根建設(株))
- ◆齋藤康弘(吉原建設工業(株))

- ◆古市富士夫(益子建設(株))
- ◆松浦久(大森建設(株))

※感謝状贈呈者

- ◆鴨志田浩義
(有)サイトウ緑地開発
- ◆菊池貴洋(吉原建設工業(株))
- ◆佐手信義(株)藤田工務店

水戸支部
活動報告Webex運用を
再確認

水戸支部（田口恵一郎支部長）は8月4日、茨城県水戸土木事務所（成瀬真勝所長）とWebexを活用したパトロール実施報告および災害協定に基づく活動に関する合同勉強会を茨城県建設技術研修センターで開催。Webexを利用した報告手順や運用ルール、災害時の初動対応などを確認。田口支部長は「災害時に適切な対応ができるよう理解を深めてほしい」と呼び掛けました。

常陸大宮支部
活動報告3者連携へ
意見交換

常陸大宮支部（高野潔支部長）は7月30日、茨城県常陸大宮土木事務所（寺家喜重所長）、茨城県中央水道事務所（渡邊隆幸所長）と合同の意見交換。支部からは資材価格の高騰や工期設定、発注時期の平準化、検査書類の簡素化などについて要望が出され、発注機関と認識を共有。高野支部長は「行政の考え方を伺うとともに、業界の要望も伝え、有意義な意見交換の場にしたい」と述べました。

潮来支部
活動報告意見交換で
課題共有

潮来支部（松崎里志支部長）と茨城県潮来土木事務所（高橋薫所長）ほか県出先機関5事務所（鹿島港湾事務所、鹿島下水道事務所、鹿行農林事務所土地改良部門、企業局鹿行水道事務所）は7月30日、令和8年度意見交換会を開催。物価高騰への対応や熱中症対策など、10項目について課題を共有。松崎支部長は「各行政機関との協力体制を強化し、減災防災に向けて取り組みたい」と述べました。

現場管理効率化へ

ASPのCPDS認定セミナー



本会は8月19日、現場管理効率化セミナー（CPDS認定）を水戸市青柳の茨城県建設技術管理センターで開催。全国で10万現場以上でASP運用実績がある㈱現場サポートの担当者を講師に、ASP・遠隔臨場の概要や活用のメリットを伝えました。当日は2部制に分けて、第1部で現場管理を効率化するための情報共有システムの活用方法と電子納品について解説。続いて第2部では、現場における情報共有ツールを活用した業務効率化について説明しました。

国補公共事業に31億追加 県9月補正予算案

茨城県は9月補正予算案をまとめました。国補公共事業に31億700万円を追加するほか、高等学校教育改革促進事業に2億9300万円を計上するなど一般会計に総額114億6700万円を追加。債務負担行為では来年度の工事の平準化を図るため10件を設定します。

主な事業のうち、国補公共事業は国の内示増に伴うもので、河川の堤防整備や幹線道路の橋梁修繕等を推進。

高等学校教育改革促進事業では、高等学校教育改革先導拠点に採択された県立水戸農業高校の整備に向けた工事設計や機器導入等に2億9300万円を充てるほか、先導拠点の整備に活用する基金の積み増しとして61億9800万円を計上。

偕楽園魅力向上等推進事業では、梅まつり期間の誘客と来園者満足度向上に向けた園路整備やフォトスポット設置等に3200万円を付けます。

道路啓開計画策定へ 法定協議会が初会合



大規模災害時の緊急輸送路等の確保へ「茨城県道路啓開計画策定協議会」の初会合が7月24日に常陸河川国道事務所で開催。改正道路法に基づく、新たな道路啓開計画の策定に着手しました。法定協議会には、本会を含む関係機関もメンバーとして参加。新たな道路啓開計画では、対象とする災害や対象路線・区間、啓開方法、資材・機械の備蓄・調達などについて明記します。今年度中に、2回程度の会合を開催予定で、年度内に計画を策定します。

制度概要や申請方法学ぶ 掛金納付電子化 セミナー 建退共



建設業退職金共済事業（建退共）茨城県支部は、8月18日と19日の2日間にわたり、茨城県開発公社ビルで「建退共掛金納付電子化セミナー」を開きました。電子ポイント方式での掛金納付方法について、制度の仕組みや共済証紙との比較などが解説されたほか、実際にパソコンを使って売掛金納付、オンライン申請のやり方について学びました。

紙の手形・小切手 利用廃止へ



2027年3月末までに
紙の手形・小切手の交換が廃止されます。

【注意！】金融機関によっては最終提出期限を設定しており、10月1日以後、原則当座勘定からの支払いができなくなります。

政府方針⁽¹⁾をもとに、産業界・金融界が連携して手形・小切手の利用廃止に向けた取組みを行っています。今すぐ、でんさい等の電子記録債権やインターネットバンキングによる振込等への切替えをご検討ください。

(1)「有価証券・小切手の利用廃止に向けたフォローアップを行う」(銀行・信託業のグランドデザイン及び実行計画 2023年版(内閣府)より)



2027年3月末までに紙の手形・小切手の交換が廃止されます。



電子化で、煩雑な申請や書類管理の手間を大幅に軽減できます。

オンラインで
業務効率化!

工事関係書類の
電子化にも対応!

発注機関等への
提出作業が軽減!

詳しい情報はこちら▶

建退共

<https://www.kentaikyotaisyokukin.go.jp/>



建退共 独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業茨城県支部
〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22 茨城県建設センター内 TEL. 029-225-0095

建災防
県支部

令和8年 10月～12月 講習会予定表

建設業労働災害防止協会茨城県支部は、令和8年度下半期の各種講習会等の日程をまとめました（そのうち10月～12月開催分は別表）。講習会等のお問い合わせ、お申し込みは建災防茨城県支部（水戸市大町3-1-22茨城県建設センター3階、電話029-300-4638）または分会へお願いします。

茨城県支部ではご要望にお応えして、上半期に定員を超えた講習などの日程追加や、休止していた講習などを再開。刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育、型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習、足場の組立て等作業主任者能力向上教育、酸素欠乏・硫化水素危険作業特別教育などを実施します。

月	日		曜日		講 習 名	会 場	備 考
10	7	8	水	木	工作物石綿事前調査者	茨城県建設技術研修センター	
	13		火		フルハーネス型安全帯特別教育	茨城県建設技術研修センター	
	15	16	木	金	足場作業主任者	高萩支部会館	
	21	22	水	木	玉掛け	建荷協研修センター	(学科)
	23		金				(実技)
	26	27	月	火	足場作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	28	29	水	木	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科) (実技)
	30		金				(実技)
11	4	5	水	木	小型移動式クレーン	鹿島港湾福祉センター	(学科) (実技)
	6		金				(実技)
	9	10	月	火	職長・安全衛生責任者教育	茨城県建設技術研修センター	
	11	12	水	木	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科) (実技)
	13		金				(実技)
	17		火		刈払機取扱作業者	建荷協研修センター	
	19	20	木	金	型枠作業主任者	建荷協研修センター	
	24		火		建設業における化学物質管理者講習	茨城県建設技術研修センター	
	25	26	水	木	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科) (実技)
	27		金				(実技)
12	30		月		足場の組立て等作業主任者 能力向上教育	茨城県建設技術研修センター	
	2	3	水	木	石綿作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	9		水		酸素欠乏・硫化水素 危険作業特別教育	茨城県建設技術研修センター	
	9	10	水	木	地山の掘削及び土止め	鹿嶋市商工会館	
	11		金		支保工作業主任者		
	10	11	木	金	建築物鉄骨作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	15	16	火	水	職長・安全衛生責任者教育	鹿嶋市商工会館	
	16	17	水	木	地山の掘削及び土止め	茨城県建設技術研修センター	
	18		金		支保工作業主任者		

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災
補償制度

建設共済保険

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル 0120 - 913 - 931

URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー

– 8 –